

# IXIL ラシッサ 室内引戸(アウトセット方式) 取付け説明書



●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

## ■守っていただきたいこと

**▲注意** …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

## ▲注意

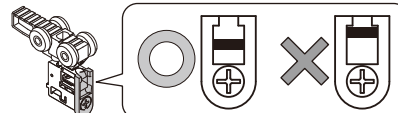
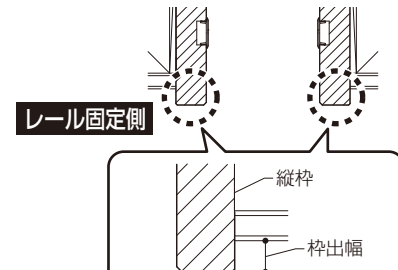


- 施工時は必ず下記をお守りください。本体脱落のおそれがあります。
- 補強材は硬木を使い、指定位置の躯体に固定してください。(硬木：厚さ24×高さ70mm以上)
- 内装ボード、合板のみには取付けできません。
- 同梱のねじを指定の本数で固定してください。
- 吊車をレバーが下がるまで入れてください。

## 保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体はソリ・ねじれ防止のため以下の場所にはおかないでください。(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 本体部品が損傷し開閉に支障をきたすので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置きでの長期保管はソリ・ねじれとなるので、寝かせた状態で保管してください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊りこむことをおすすめします。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容		
1	指定の位置に硬木の補強材は設置していますか？	<input type="checkbox"/>	
2	吊車を上レールに正しい向きで入れましたか？	<input type="checkbox"/>	
3	吊車を最後(レバーが下がる)まで押し込みましたか？ 	<input type="checkbox"/>	
4	(固定枠納まりの場合)縦枠の枠出幅は見込みによって変えていますか？ ※入隅用縦枠の出幅は変わりません。 	<input type="checkbox"/>	
	見込み	NC95、NC115	NC90、NC156、NC171、NC180
	枠出幅	12.5mm	13mm




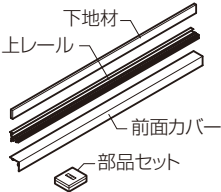
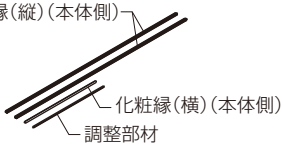
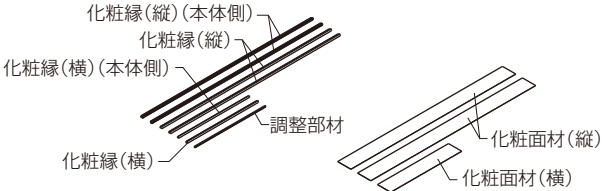
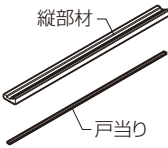
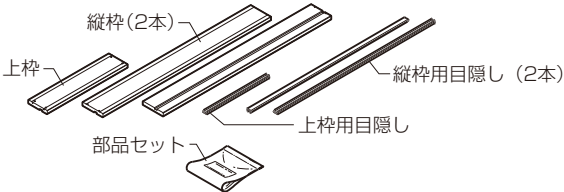
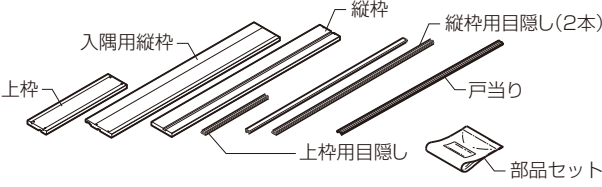
このマンガはフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。

アウトセット引戸  
レールセットの  
施工手順動画



## ■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

<p>片引き用本体</p>  <p>1枚梱包</p>
<p>枠(レールセット)</p>  <p>下地材 上レール 前面カバー 部品セット</p>
<p>化粧縁片面セット</p>  <p>化粧縁(縦)(本体側) 化粧縁(横)(本体側) 調整部材</p>
<p>化粧縁両面セット</p>  <p>化粧縁(縦)(本体側) 化粧縁(縦)(本体側) 化粧縁(横)(本体側) 調整部材 化粧縁(横) 化粧面材(縦) 化粧面材(横)</p>
<p>入隅用縦部材セット</p>  <p>縦部材 戸当り</p>
<p>平入用固定枠セット</p>  <p>縦枠(2本) 上枠 縦枠用目隠し(2本) 上枠用目隠し 部品セット</p>
<p>入隅用固定枠セット</p>  <p>入隅用縦枠 上枠 縦枠 縦枠用目隠し(2本) 戸当り 上枠用目隠し 部品セット</p>

●玄関に設置する際は下記部品を手配ください。

- ・クローゼット引戸アウトセット用部品セット
- ・クローゼット引戸アウトセット入隅部材セット  
(必要な場合)

※本説明書では、据付け前の準備から下地材の取付け方法までを記載しています。上記部品の取付け説明はクローゼット引戸アウトセット用部品セットに同梱の、取付け説明書をご確認ください。

## ■取付け前の準備

### ■納め方の確認

納まりによって、参照するページが異なります。どの納め方が最初に確認してください。

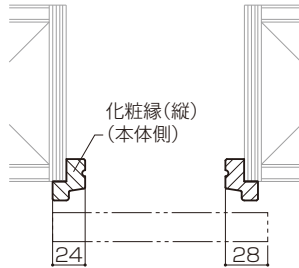
平入り納まり

a 片面化粧縁納まり

P5~

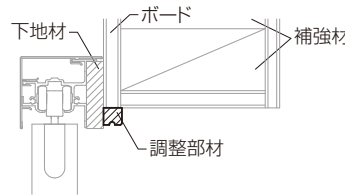
●横断面

見付け幅:24mm



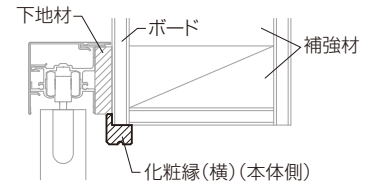
【上部調整部材使用納まり例】

●縦断面



【上部化粧縁使用納まり例】

●縦断面

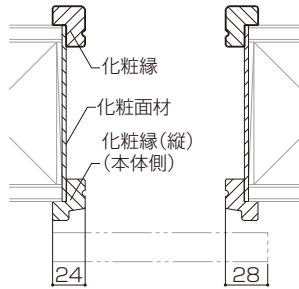


b 両面化粧縁納まり

P5~

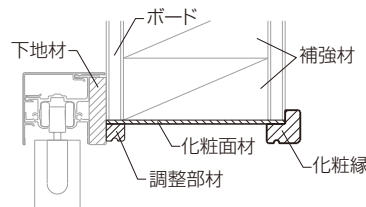
●横断面

見付け幅:24mm



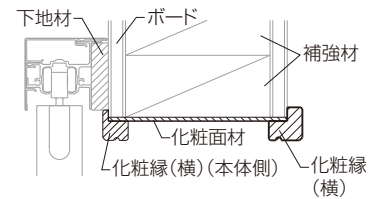
【上部調整部材使用納まり例】

●縦断面



【上部化粧縁使用納まり例】

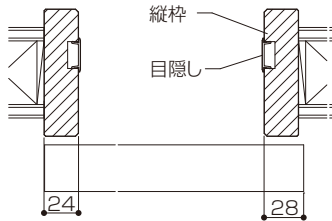
●縦断面



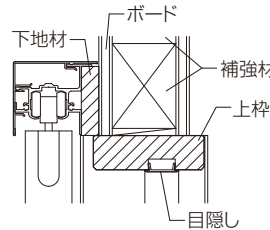
c 固定枠納まり

P4~

●横断面



●縦断面

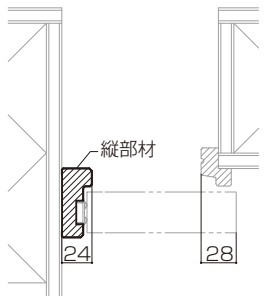


入隅納まり

d 化粧縁納まり

P5~

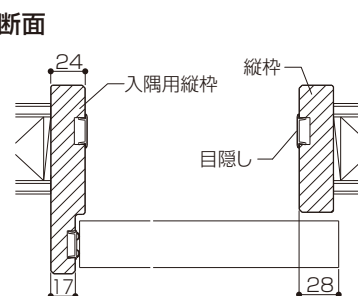
●横断面



e 固定枠納まり

P4~

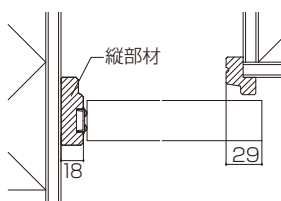
●横断面



クローゼット引戸  
アウトセットタイプ

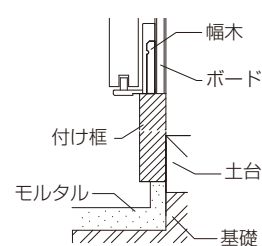
【下部納まり(玄関設置時)】

●横断面



【入隅納まり(玄関設置時)】

●縦断面



## 1 固定枠の開口部の作り方 (c・e固定枠納まりの場合)

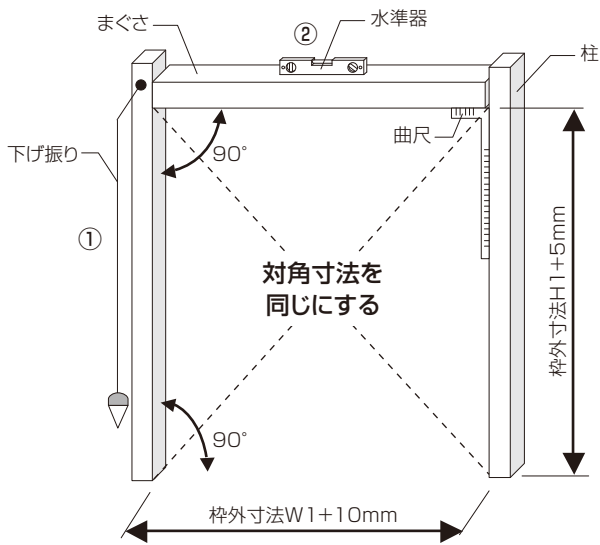
### 開口施工上のお願ひ

●製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。

#### 【軽量鉄骨に施工する場合】

開閉不良となるため、同梱のねじを使用してください。  
軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

- ①開口は、枠外寸法に対して高さ：+5mm、幅：+10mmとしてください。
- ②開口は必ず、水平垂直にしてください。



### ●W方向寸法

(単位:mm)

W呼称	W 上レール外法	平入り納まり W1 固定枠外法	入隅納まり W1 固定枠外法
W13	1324	652	672
W15	1560	770	790
W16	1644	812	832
W19	1824	902	922
特寸	W	(W-20)/2	(W+20)/2

### ●H方向寸法

H呼称	H 床~レール上寸法	H1 固定枠高さ
H20	2030	1978
特寸	H	H-52

### ■対応壁厚について

	壁厚(mm)	
	幅木6mm	幅木9mm
NC90	59~69	59~66
NC95	64~75	64~72
NC115	83~95	83~92
NC156	126~135	123~132
NC171	138~150	138~147
NC180	147~159	147~156

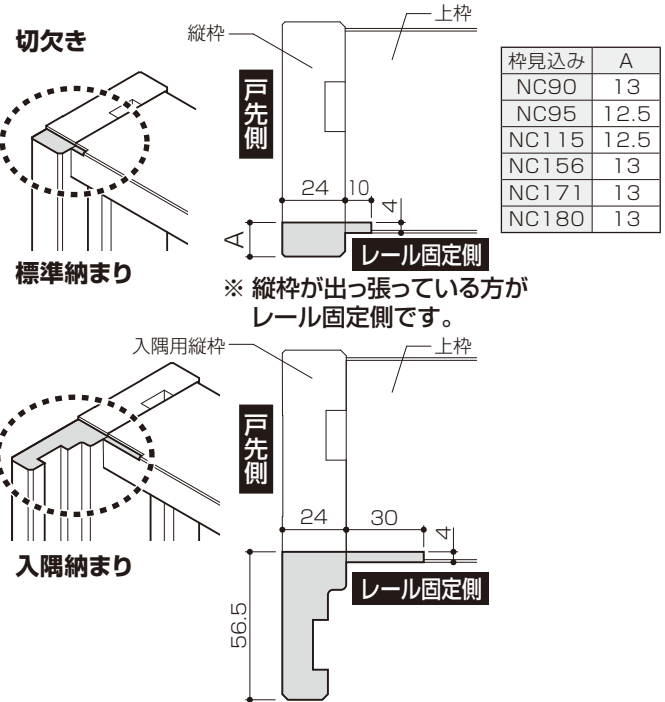
## 2 固定枠取付けの下準備 (c・e固定枠納まりの場合)

### ■固定枠の加工

### ■固定枠セット

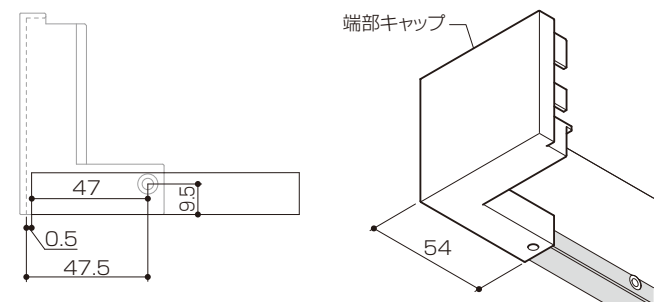
名称	平入用	入隅用
上枠	1	1
縦枠	2	1
入隅用縦枠	-	1

端部キャップと干渉するため、戸先側枠上部に深さ2mmに切欠きしてください。  
※推奨納まりと異なる納まりの場合は、切欠き範囲を事前に確認してください。

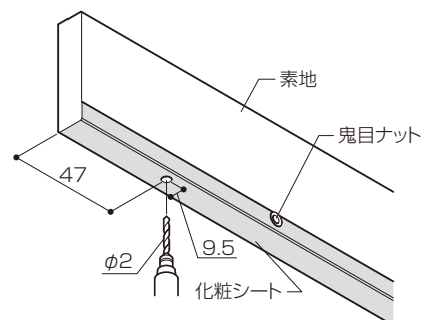


### ■下地材の下穴加工

下地材の指定位置に印を付けた後、端部キャップを当てて、下穴位置が合っていることを確認してください。



下穴位置を確認後、下地材の指定位置のφ2の下穴をあけてください。



### 3 開口部の作成

#### ▲ 注意

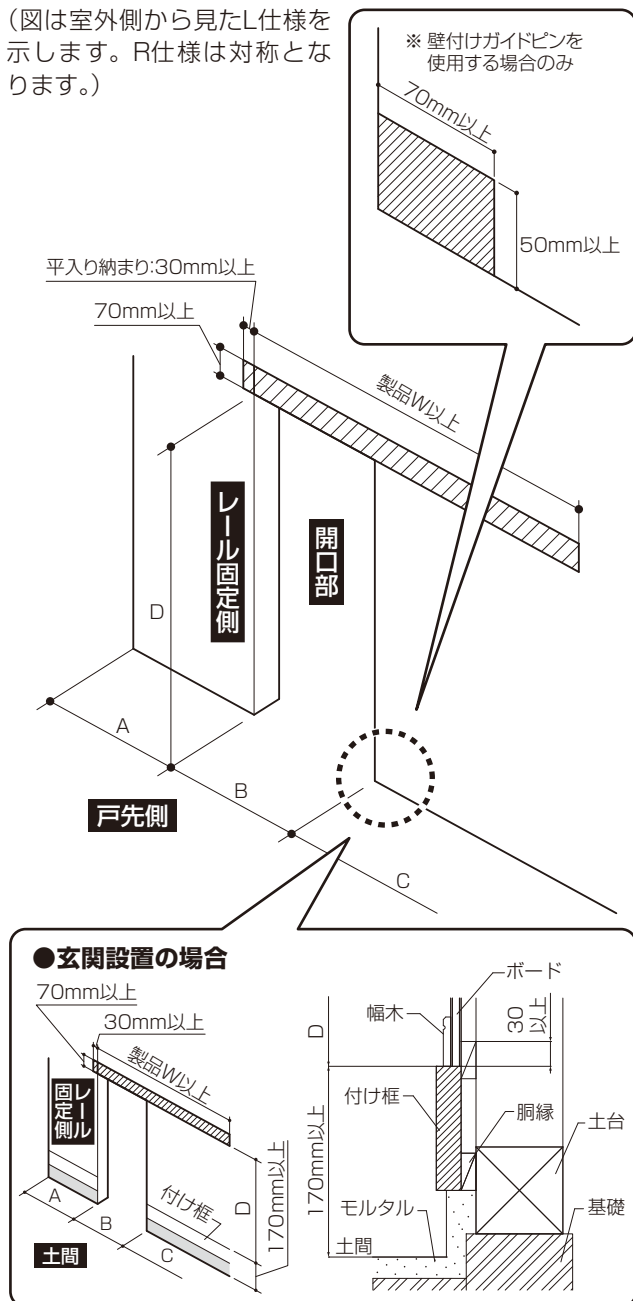


- 下記事項を必ずお守りください。本体脱落のおそれがあります。
- ・ 指定位置に補強材を入れてください。
- ・ 補強材は以下を守って、柱に固定してください。  
(硬木：24×70mm以上)
- ※ 石こうボードのみには取付けできません。
- ・ ねじは指定のものを指定本数使用して固定してください。

① 下図斜線部に、下地材取付け用の補強材(厚さ24mm以上)を入れてください。

② 開口部を取付け範囲にしたがって作成してください。

(図は室外側から見たL仕様を示します。R仕様は対称となります。)



#### 据付け上のお願

- 開口寸法は、壁を仕上げた状態の寸法としてください。  
【玄関設置の場合】
- 本体下端が土間から170mm以上確保できるように下地材を取付けください。  
(木質扉・化粧縁は防水仕様ではありません。)
- 付け框を必ず取り付けてください。
- 胴縁を取付ける場合は必ず付け框に30mm以上胴縁がかかるようにしてください。

※ 推奨納まりと異なる納まりの場合も、上レールおよび壁付けガイドピン固定個所には必ず補強材を入れるよう確認してください。

#### a 片面化粧縁納まり

(単位:mm)

	W	DW	A	B	C
W13	1324	656	30以上	632以下	662以上
W15	1560	774	30以上	750以下	780以上
W16	1644	816	30以上	792以下	822以上
W18	1824	906	30以上	882以下	912以上

※  $B+C+30 \geq W$  を満たすこと。

	H	DH	D	
			化粧縁	調整材
H20	2030	1973	1970以下	1993

#### b 両面化粧縁納まり

(化粧面材を使用しない場合は、aと同じ範囲です。)

	W	DW	A	B	C
W13	1324	656	27以上	638以下	659以上
W15	1560	774	27以上	756以下	777以上
W16	1644	816	27以上	798以下	819以上
W18	1824	906	27以上	888以下	909以上

※  $B+C+27 \geq W$  を満たすこと。

	H	DH	D	
			化粧縁	調整材
H20	2030	1973	1973以下	1996

#### c 固定枠納まり

	W	DW	A	B	C
W13	1324	656	20以上	652	652以上
W15	1560	774	20以上	770	770以上
W16	1644	816	20以上	812	812以上
W19	1824	906	20以上	902	902以上

※  $B+C \geq W$  を満たすこと。

※ B寸法は固定枠外寸法を示します。

	H	DH	D
H20	2030	1973	1978

#### d 片面化粧縁納まり

(単位:mm)

	W	DW	A	B	C
W13	1324	656	0	662以上	662以上
W15	1560	774	0	780以上	780以上
W16	1644	816	0	822以上	822以上
W18	1824	906	0	912以上	912以上

※  $B+C \geq W$  を満たすこと。

※ H開口は、aと同じです。

#### e 固定枠納まり

	W	DW	A	B	C
W13	1324	656	0	672	652以上
W15	1560	774	0	790	770以上
W16	1644	816	0	832	812以上
W19	1824	906	0	922	902以上

※  $B+C \geq W$  を満たすこと。

※ H開口は、cと同じです。

※ B寸法は固定枠外寸法を示します。

平入納まりの場合

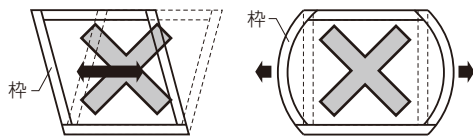
片面入隅納まりの場合

## 4 固定枠の取付け (c・e固定枠納まりの場合)

### ■固定枠の組立て

#### 固定枠の組立て上のお願ひ

- ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
- ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
- 枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

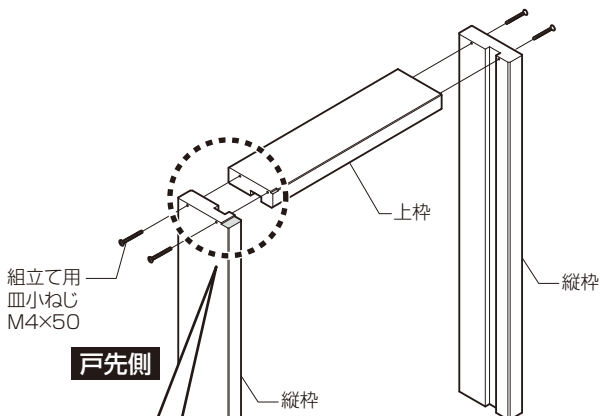


- 本製品のねじ締め付け時にはクラッチ付ドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎるとねじが空転したり、ねじの頭が飛んだりつぶれたりする場合があります。
- 組立ねじは縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。

### ■固定枠部品セット一覧表

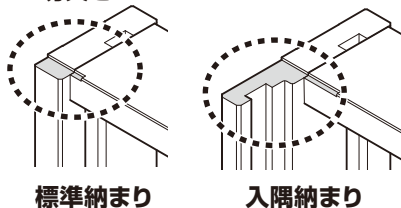
名称	入数
枠組立て用皿小ねじM4×50	4
縦枠取付け用DNねじφ3.8×50	13

- ①下図のように同梱のねじで枠を組み立ててください。  
 ※**2**固定枠取付けの下準備にて、枠加工が完了していることを確認してください。



固定の上部は枠の組立前に切欠き加工が必要です。

#### 切欠き



標準納まり

入隅納まり

### ■固定枠の取付け

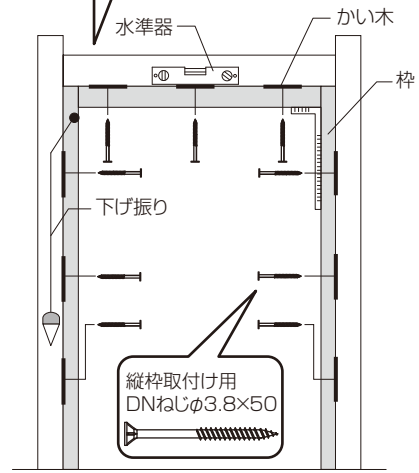
#### 固定枠取付け上のお願ひ

- 取付けの際は引戸のL/Rを確認してください。
- 建具枠を取付ける時は必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合はかい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 製品脱落・開閉不良になるので、必ず同梱の指定ねじを使用してください。
- コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
- 枠は必ず水平垂直に取付けしてください。

#### ●かい木について



上枠が持ち上がらないように枠接合部にかい木を入れます。



#### ●縦枠の固定

壁仕上げ面からの出幅が図の位置になるよう取付けてください。

#### 標準納まり

枠見込み	A
NC90	13
NC95	12.5
NC115	12.5
NC156	13
NC171	13
NC180	13

#### 入隅納まり



レール固定側



## 4 固定枠の取付け (c・e固定枠納まりの場合)(つづき)

### ■戸当り、目隠しの取付け

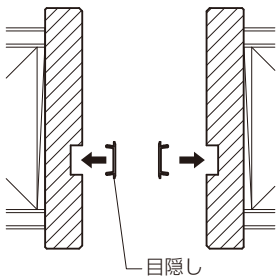
### ■固定枠セット

名称	平入用	入隅用
上枠用目隠し	1	1
縦枠用目隠し	2	2
戸当り	-	1

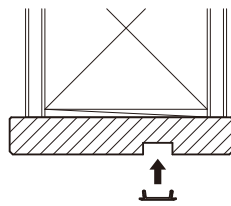
①戸当り・目隠しの長さを合わせてカットし、接着剤(現場手配)を塗布して枠に取付けてください。

#### 平入り納まりの場合

##### ●縦枠



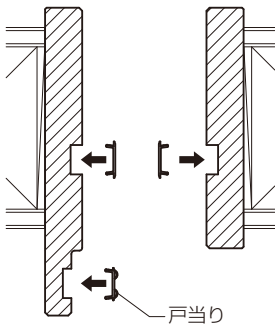
##### ●上枠



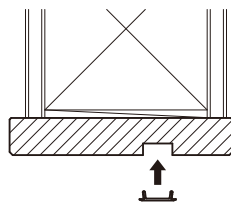
#### 入隅納まりの場合

### ■戸当り、目隠しの取付け

##### ●縦枠



##### ●上枠



##### ●接着剤塗布部

目隠し	戸当り

■ : 塗布面

## 5 下地材の取付け

### 下地材仮固定時のお願い

- 取付け不良となるため、下記事項をお守りください。
  - ・下穴を開けてから、ねじを締めてください。
  - ・水準器などを使用し水平に取付けてください。
  - ・ねじれがないように取付けてください。
  - ・ねじの頭は、下地材表面から飛び出さないように取付けてください。

### ■ 枠セット一覧表

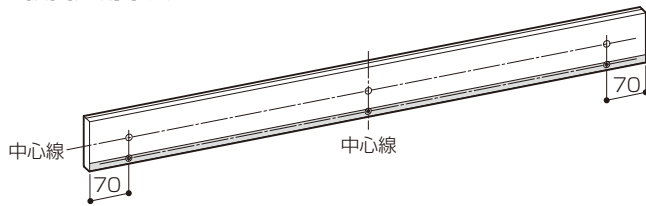
名称		片引き用
枠	下地材	1
部品セット(片引き用)		1

### ■ 部品セット一覧表 【片引き用部品セット】

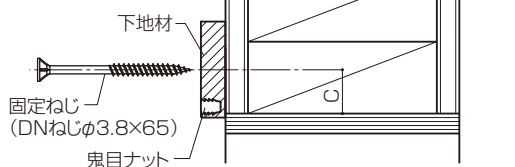
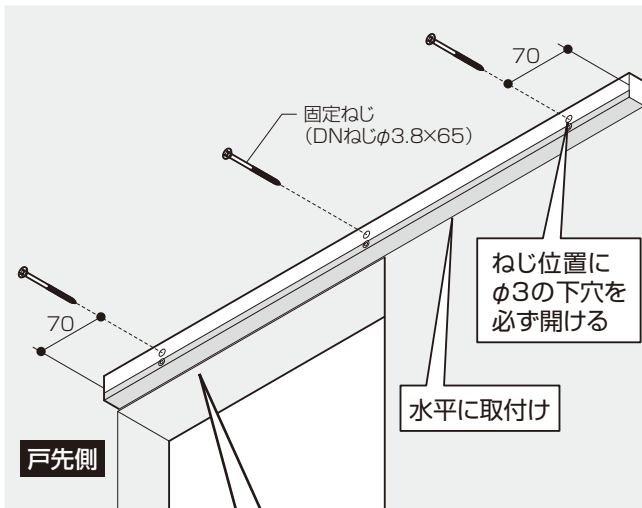
名称	入数
下地材仮固定用DNねじφ3.8×65	3

①下地にφ3の仮固定用下穴(貫通穴)を3カ所あけます。

### ■ 仮固定用下穴ピッチ



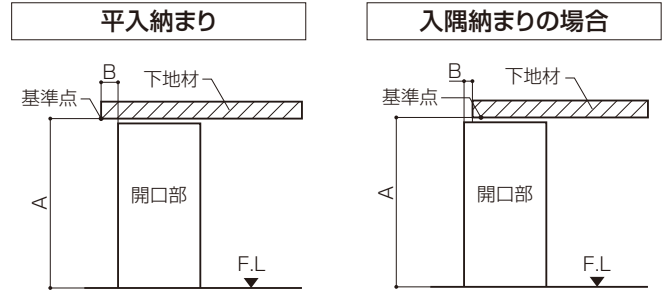
②下地材を指定の取付け位置に、同梱のねじで水平に取付けてください。



※C寸法は、8mm以上確保してください。8mm以上確保できない場合は、仮固定ねじの位置をずらすなどして補強材に固定してください。

### 【下地材固定位置】

下地材は上部の納め方によって取付け位置が変わります。  
※推奨納まりと異なる納まりの場合は、下地材位置を事前に確認してください。



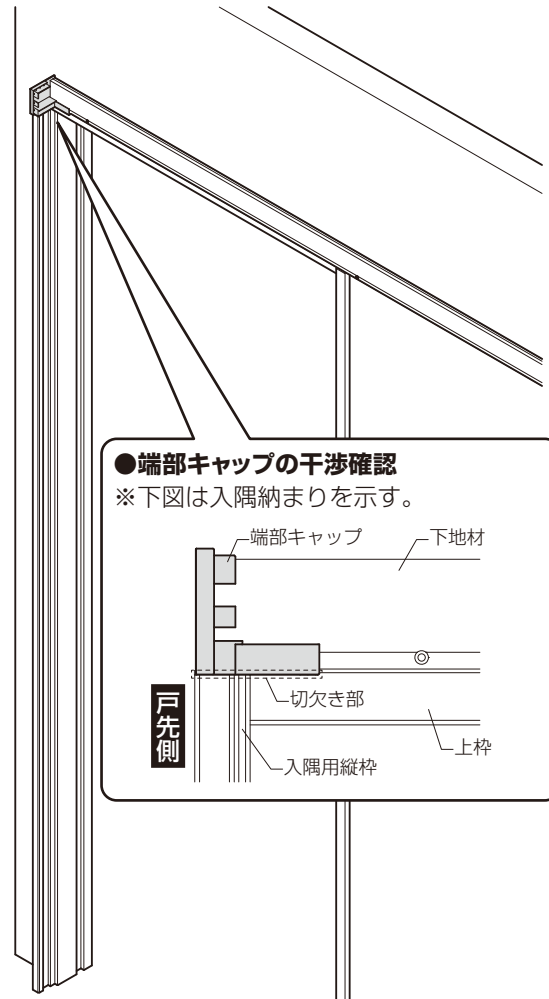
呼称	A
H20	1978
H特注時	DH+5

納まり		B
平入り	片面化粧縁	27
	両面化粧縁	24
	固定枠	17

納まり		B
入隅	片面化粧縁	3
	両面化粧縁	-
	固定枠	3

### ※ 固定枠納まりの場合

レール固定時点で、戸先側の端部キャップを固定個所に合わせてください。端部キャップと枠の切欠き部が干渉しないことを確かめてください。

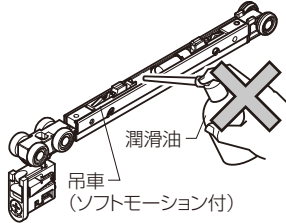




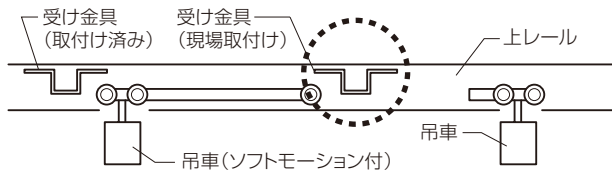
## 6 上レールの取付け

### 上レール取付け時のお願い

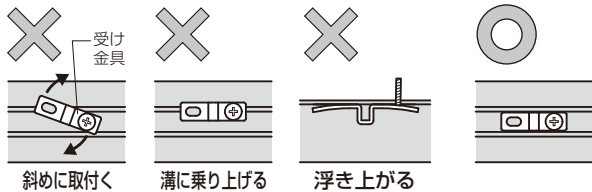
- 作動不良となるため、下記事項をお守りください。
- ・ 吊車(ソフトモーション付)に潤滑油などを塗布しないでください。



- ・ 吊車は正しい向きに入れてください。



- ・ ソフトモーション受け金具は完全に固定されるまで、上レールにしっかりと固定してください。



### ■ 枠セット一覧表

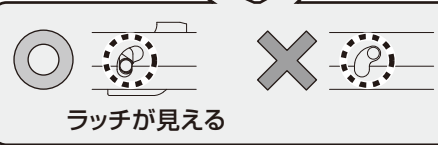
名称		片引き用
枠	上レール	1

### ■ 部品セット一覧表 【片引き用部品セット】

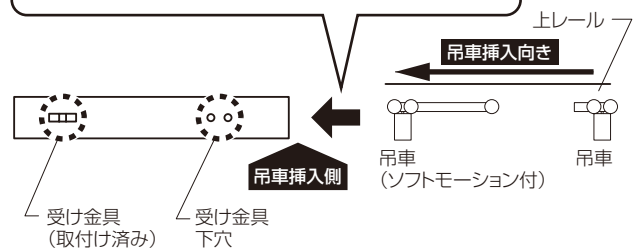
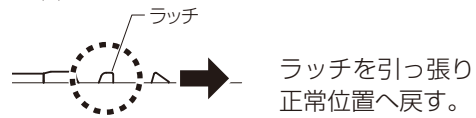
名称	入数
端部ストッパー	2
受け金具取付け用低頭ねじM3×12	2
受け金具裏板	1
受け金具	1
吊車(ソフトモーション付)	1
吊車	1
上レール取付け用トラスタッピンねじφ4×50	6
端部ストッパー取付け用なべタッピンねじφ4×45	4
上レール取付け用平小ねじM4×10	3

- ① 上レールに吊車を挿入します。
- ② 受け金具を取付けます。

### ● 吊車の挿入前確認(ソフトモーション付)

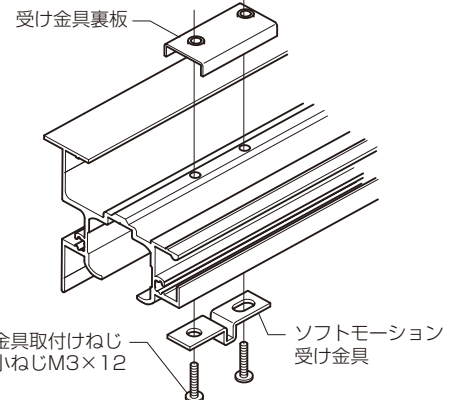
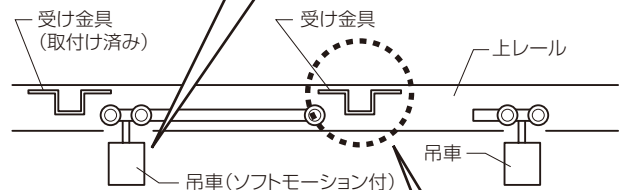


※ Xの場合



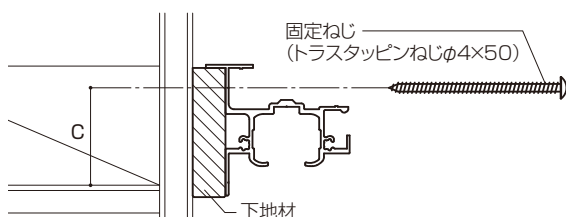
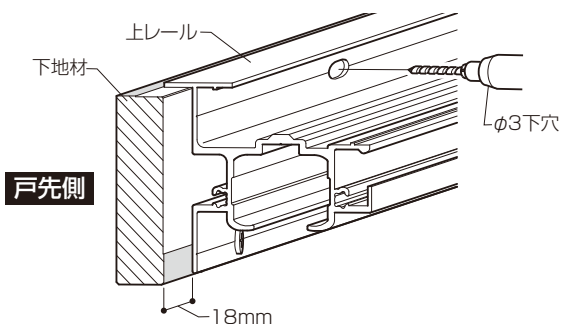
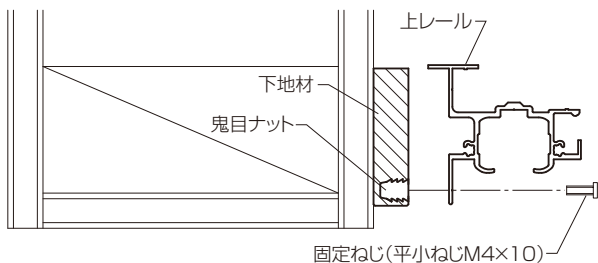
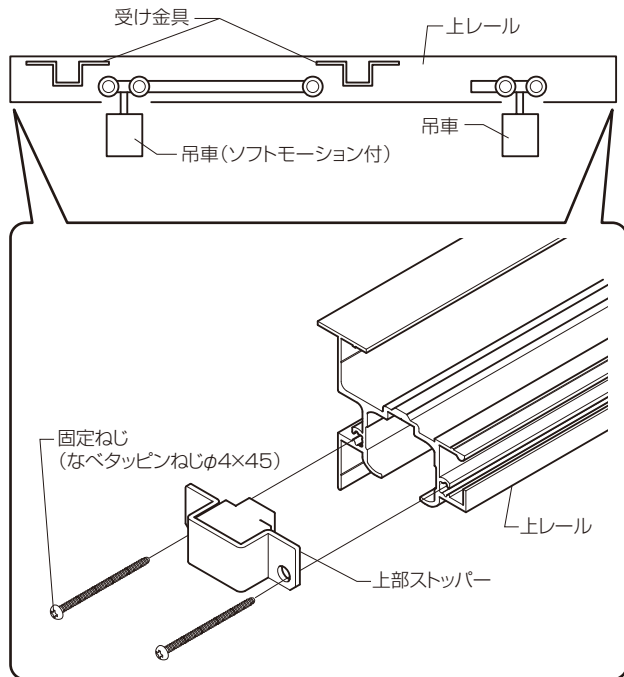
※ レールはL/R兼用のため、L/Rに関わらず吊車の向きは同じになります。

吊車(ソフトモーション付)は2個の受け金具の間に来るように配置します。



## 6 上レールの取付け(つづき)

- ③上レールの両端に上部ストッパーを取付けます。
- ④下地材に上レールを固定します(3か所)。  
戸先側の下地材端部からレール端部までの寸法が18mmであることを確認してください。
- ⑤上レールの加工穴に合わせて、下地材にφ3の下穴をあけ、同梱のねじで固定します。



※C寸法は8mm以上確保してください。

## 7 前面カバーの取付け

### 前面カバー取付け上のお願

- 端部キャップは奥まではめ込んでください。
- 前面カバーをはめ込んだ後は、軽く引っ張り外れないことを確認してください。

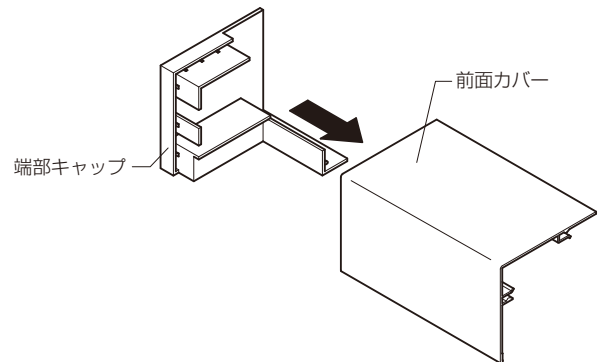
### ■枠セット一覧表

名称		片引き用
枠	前面カバー	1

### ■部品セット一覧表 【片引き用部品セット】

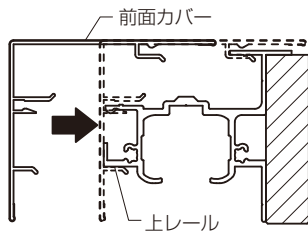
名称	入数
端部キャップ用皿タッピンねじφ3×10	2
端部キャップL/R	L/R各1

- ①前面カバーの両端部に端部キャップをしっかりと奥まではめ込みます。

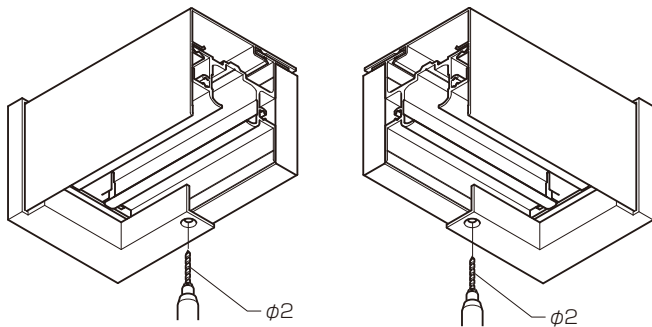
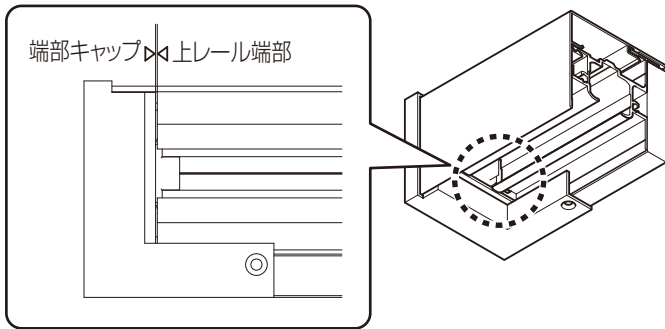


## 7 前面カバーの取付け(つづき)

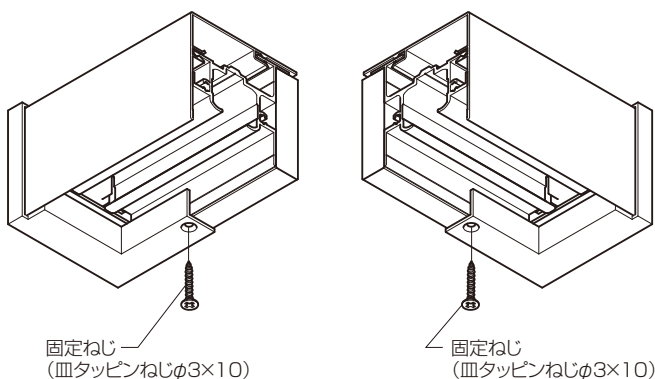
- ②前面カバーを前からはめ込みます。  
 ※前面カバーを軽く引っ張り、外れないことを確認してください。  
 ③端部キャップの下面加工穴に合わせて下地材にφ2の下穴をあけ、同梱のねじで固定します。  
 ※固定枠納まりの場合、戸先側のみ**2**固定枠取付けの下準備にて下穴をあけています。下穴に合わせて同梱ねじで固定してください。



※横位置は上レール端部と端部キャップが面になるように合わせてください。



※【固定枠納まりの場合】**2**固定枠取付けの下準備にて戸先側は下穴加工を実施しているため、ねじ固定のみ実施してください。

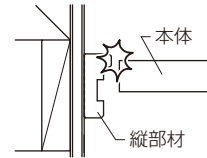


## 8 開口部材の取付け

### 8-1 入隅用縦部材の取付け 〔d 化粧縁納まりの場合〕

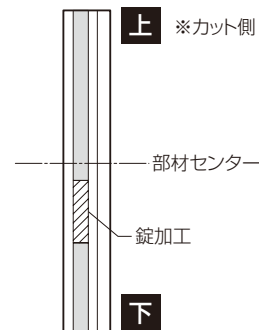
#### 入隅用縦部材取付け上のお願

- 開閉に支障が出るため、縦部材は、垂直を出して取付けてください。



#### 【錠付きの場合】

- 下側をカットすると本体との錠位置が合わなくなるため、必ず上側をカットしてください。

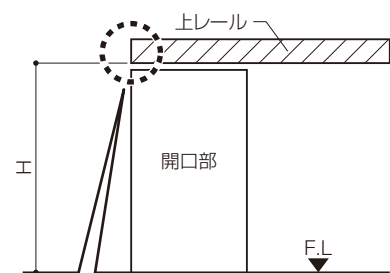


#### ■入隅用縦部材セット一覧表(別売り)

名称	入数
縦部材	1
戸当り	1

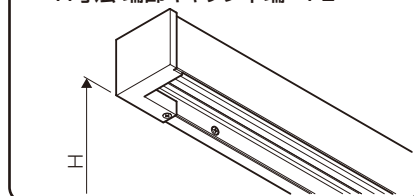
※別売品の「アウトセット入隅用縦部材」を別途手配してください。

- ①端部キャップ下面と床の内法寸法Hに合わせ、縦部材をカットします。



#### ●H寸法

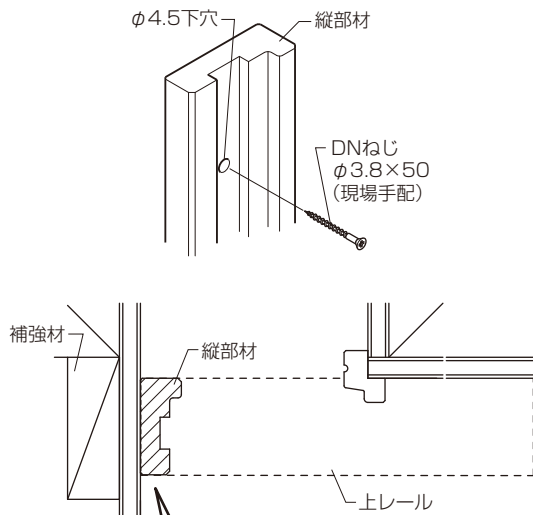
H寸法:端部キャップ下端~FL



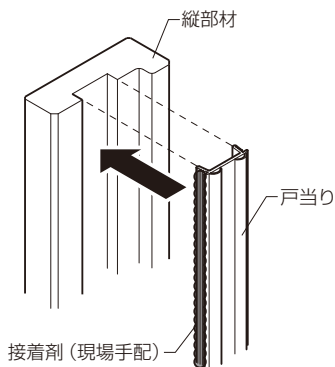
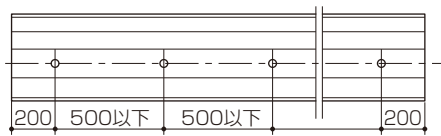
## 8 開口部材の取付け(つづき)

### 8-1 入隅用縦部材の取付け 〔d 化粧縁納まりの場合〕(つづき)

- ②縦部材にφ4.5の穴をあけ、上レールと床の内側に縦部材を挿入し、DNねじφ3.8×50(現場手配)で固定します。
- ③戸当りの長さを合わせてカットし、接着剤(現場手配)を塗布して縦枠部材の溝に取付けます。



#### ●縦部材下穴ピッチ



### 8-2 化粧縁の取付け 〔a・b・d 化粧縁納まりの場合〕

#### ■化粧縁セット一覧表

名称	片面	両面
化粧縁(縦)(本体側)	2	2
化粧縁(縦)	—	2
化粧縁(横)(本体側)	1	1
化粧縁(横)	—	1
調整部材	1	1
化粧面材(縦)	—	2
化粧面材(横)	—	1
ポリネートチューブ	—	2

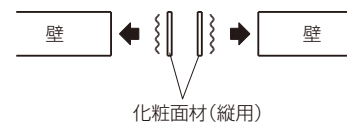
#### ●両面化粧縁の場合

化粧面材を開口部に取付けた後、化粧縁材を取付けます。

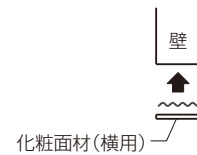
※化粧面材は裏面(〜面)に接着剤を塗布して固定してください。

化粧縁の固定には、同梱のポリネートチューブを使用します。

#### ●横断面図



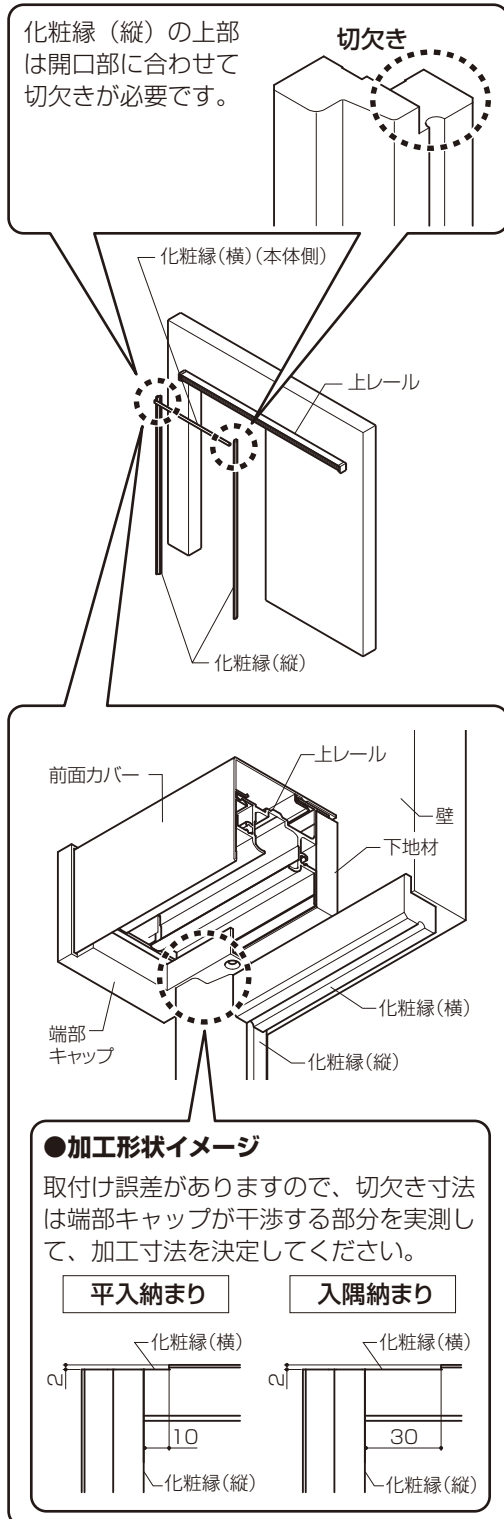
#### ●縦断面図



## 8 開口部材の取付け(つづき)

### 8-2 化粧縁の取付け [a・b・d 化粧縁納まりの場合](つづき)

- ①化粧縁材を現場寸法に合わせて切断します。
  - ②化粧縁材の裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、かくし釘(現場手配)で固定します。
- ※かくし釘のピッチは、200~300mmです。  
※化粧縁材の取付け面は、接着剤がつくように仕上げてください。



## 9 ガイドピンの取付け

### ガイドピンの取付け時のお願い

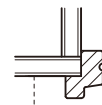
- 本体の開閉操作に支障が出る原因となるため、ガイドピンは正確な位置に取付けてください。

### ■部品セット一覧表 【片引き用部品セット】

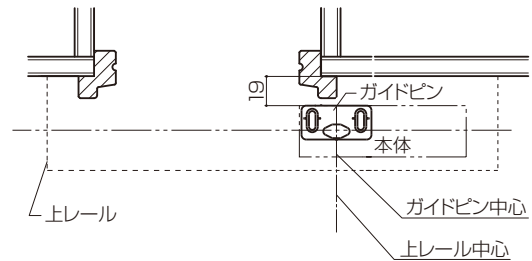
名称	入数
固定ガイドピンセット	1

- ①ガイドピンを下図の位置に合わせて床に固定します。

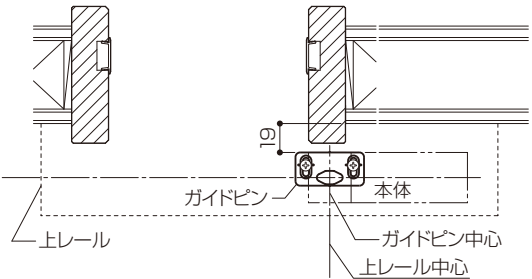
#### 片面化粧縁納まり



#### 両面化粧縁納まり



#### 固定枠納まり



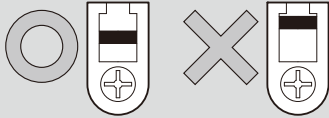
- ※壁付け用ガイドピン、中縦枠取付けガイドピンを使用する場合は、各ガイドピンセットに同梱の取付け説明を参照ください。

## ⑩本体の吊込み

### ▲注意



●吊車は確実に押し込んでください。  
扉が落下するおそれがあります。



①本体を持ち上げて、本体下部の溝をガイドピンにあわせませす。

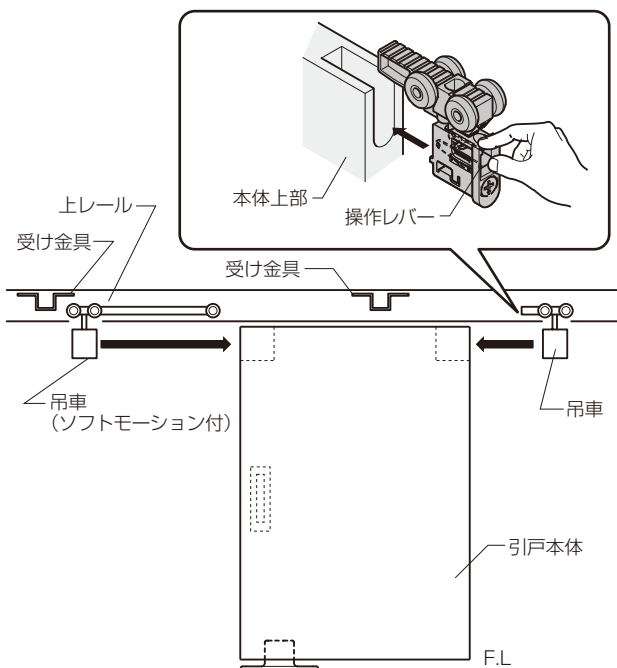
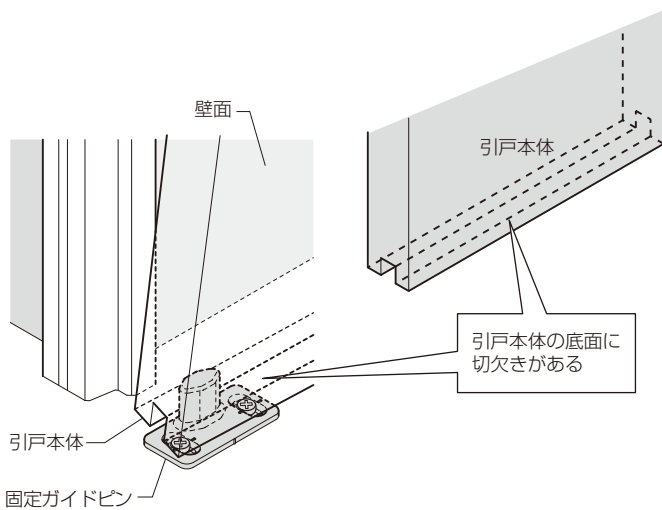
※戸先側に把手加工がくるように本体を吊込んでください。

②吊車を片側ずつ水平に押し込み、取付けます。

※吊車の向きは左右どちらの勝手でも同じ向きになります。

※前面カバーに本体が当たって吊込みにくい場合は、一度前面カバーを外して吊込んでください。

(⑮前面カバーの取外し方法参照)



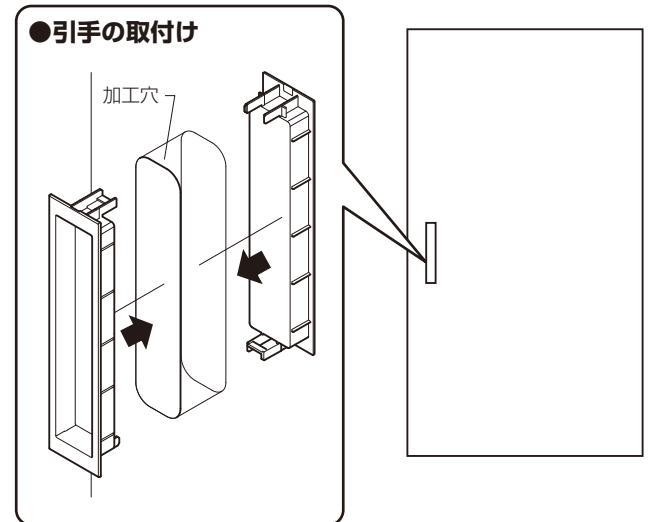
## ⑪本体への部品付け

### ■引手セット(別売り)

名称	入数
引手	2個

①仮組みされた引手は平行に引き抜いてください。

②引手を本体加工穴に押し込み固定してください。



### ■プッシュ錠セット(別売り)

名称	入数
プッシュ錠本体	1
錠座カバー	1
カギ(シリンダー錠のみ)	3

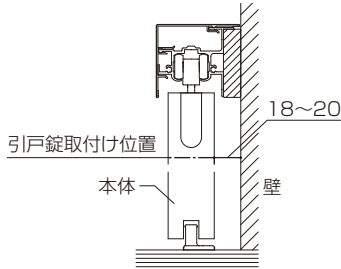
※錠の取付けについては、錠セットに同梱の取付け説明書をご覧ください。



## 引戸錠受けの取付け

### 錠受け取付け上のお願ひ

- 部品脱落の可能性があるため、上部ストッパーより先に本体が当たらないように取付けてください。
  - 施錠できなくなるため、壁と本体のチリ寸法は、18~20mmにしてください。
- 本体の調整(P16)



### 錠受けセット(別売り)

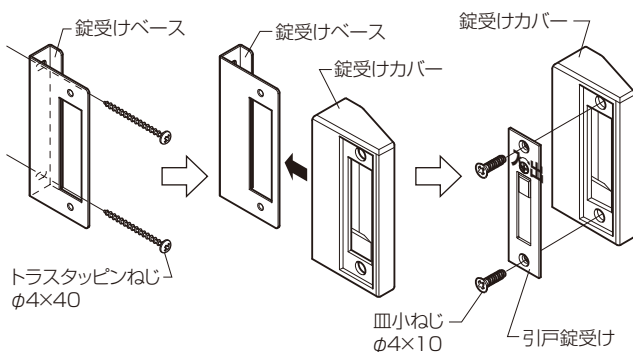
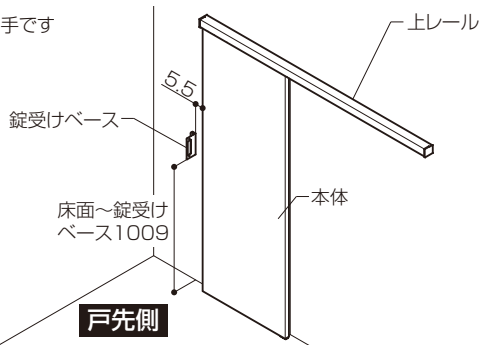
名称	入数
錠受けベース	1
錠受けカバー	1
引戸錠受け	1
錠受け取付け用皿小ねJM4×10	2
ベース取付け用トラスタッピンねじφ4×40	2

※錠受けに左右はありません。納まりに向きを合わせて取付けます。

- ①同梱のねじで、錠受けベースを壁面に取付けます。  
※錠受けベースは、本体を閉めた状態で5.5mmあけた位置に取付けてください。
- ※取付けねじは、柱または間柱に固定してください。
- ②錠受けカバーを錠受けベースにかぶせます。
- ③引戸錠受けを錠受けカバーに取付け、同梱のねじで固定します。

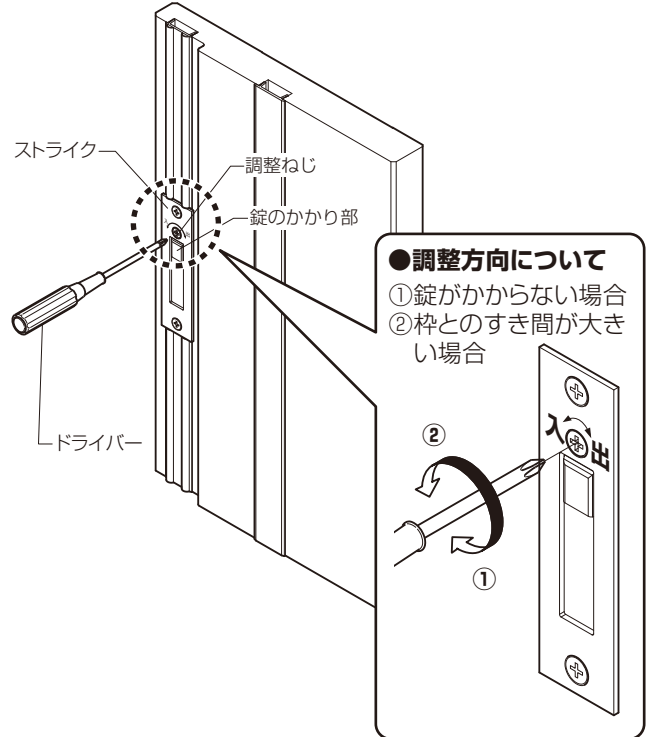
### 錠受けベース取付け位置

※図は左勝手です



### 引戸錠のかかり調整

- ①錠がかからない場合、右に回してください。
- ②枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



#### 調整方向について

- ①錠がかからない場合
- ②枠とのすき間が大きい場合

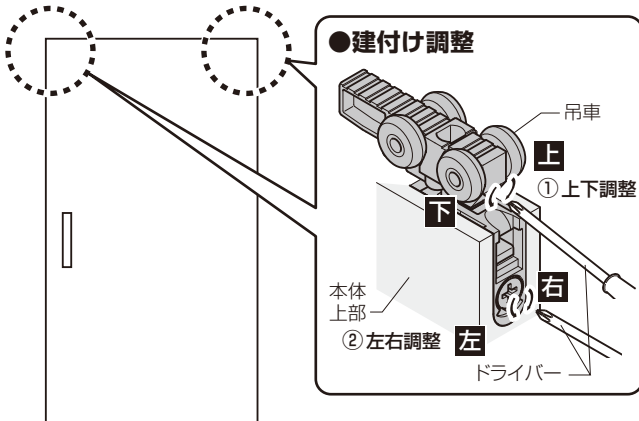
## ■本体側の調整について

### 本体調整上のお願

- 本体と床のすき間が範囲から外れると以下のような不具合となります。(本体下部のはずれ、引戸下部のこすれ)

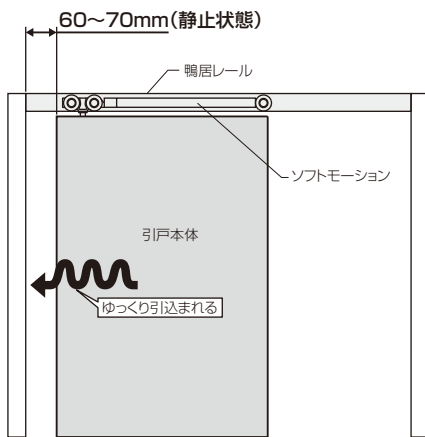
### ●建付け調整について

- ①上下調整(+4mm、-1mm)  
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ②左右調整(±2mm)  
ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



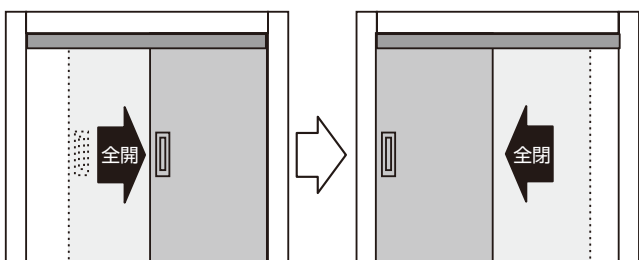
### ●ソフトモーションについて

- ・静止状態で枠から60~70mmで引き込みされます。
- ・開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



### ●ソフトモーションが機能しない場合(自動復帰)

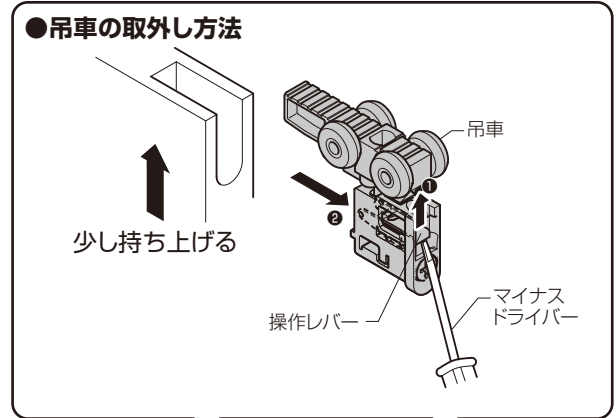
- ①本体を全開してください。
  - ②本体を全閉してください。
  - ③復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性があります。



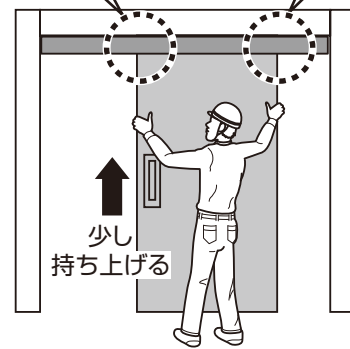
## ■本体・引手の取外し方法

### ●本体の取外し方法

- ①本体を少し持ち上げて吊車に荷重をかからないようにしてください。
- ②操作レバーをマイナスドライバーなどで押し上げながら引き抜いてください。

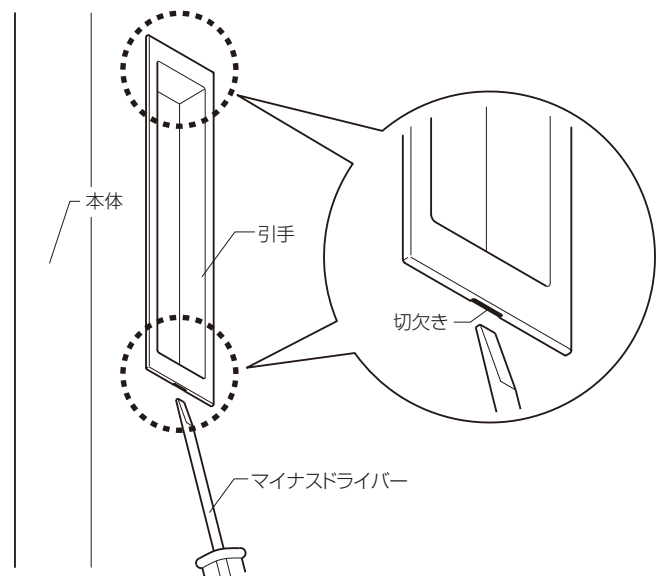


### ●吊車の取外し方法



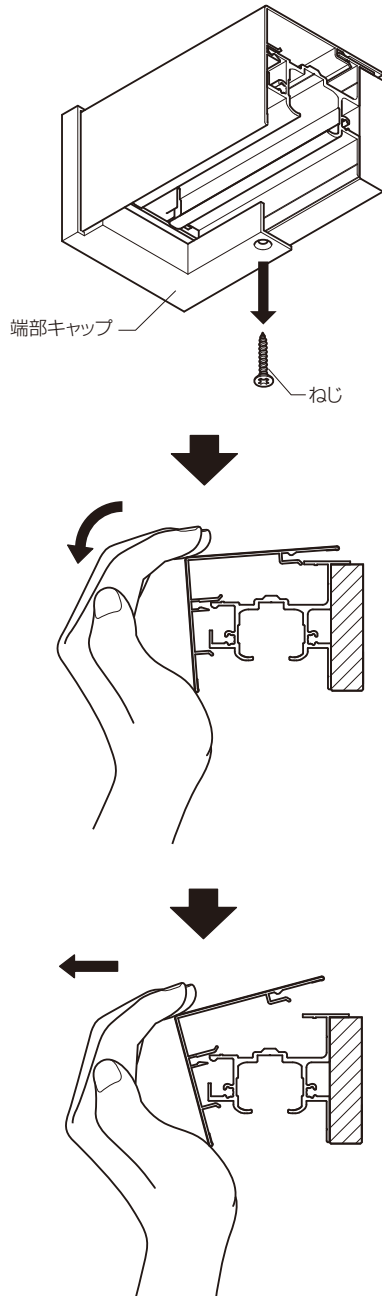
### ●引手の取外し方法

マイナスドライバー等を切欠きに入れて外してください。



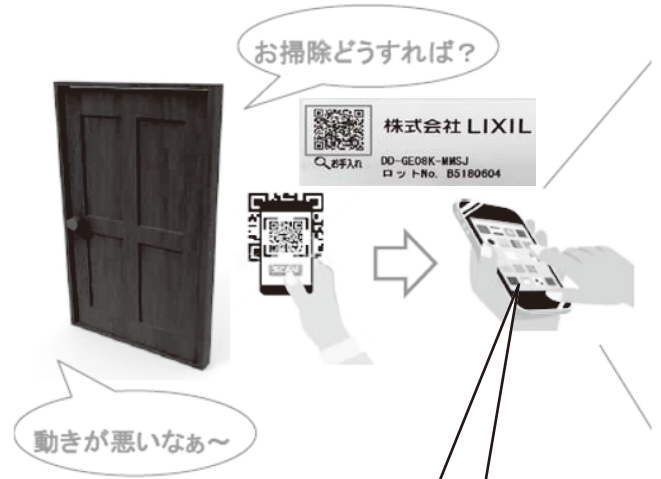
## ④ 前面カバーの取外し方法

- ① 端部キャップの下面ねじを外します。
- ② 前面カバーを下図のように力を加えながら外します。



## ④ 困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。  
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。

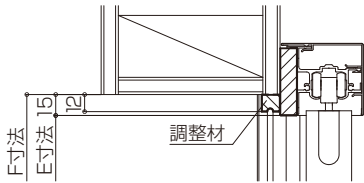


## ■納まり図

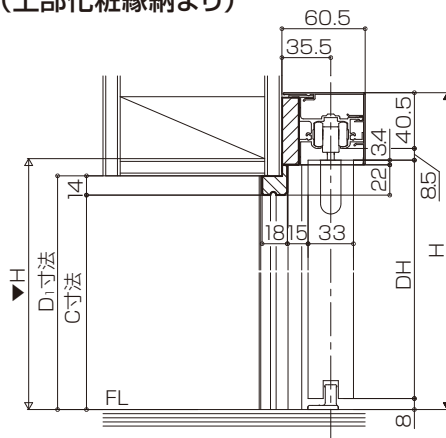
### ■片面化粧縁納まり

#### ●縦断面図

(上部調整材納まり)



(上部化粧縁納まり)



#### 有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A <sub>1</sub> 寸法	A <sub>2</sub> 寸法	B <sub>1</sub> 寸法	B <sub>2</sub> 寸法
W13(1324)	624	604	662	632
W15(1560)	742	722	780	750
W16(1644)	784	764	822	792
W18(1824)	874	854	912	882

H呼称(枠外寸法)	C寸法	D <sub>1</sub> 寸法	E寸法	F寸法
H20(2030)	1956	1970	1978	1993

算出式

片面入隅納まりの場合:

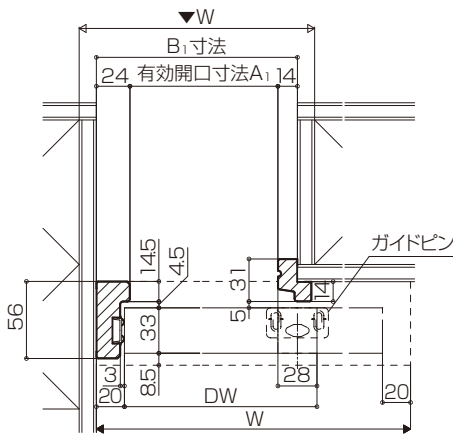
$$\text{有効開口}A_1 = (W - 76) / 2, B_1 = W / 2$$

片面化粧縁納まりの場合:

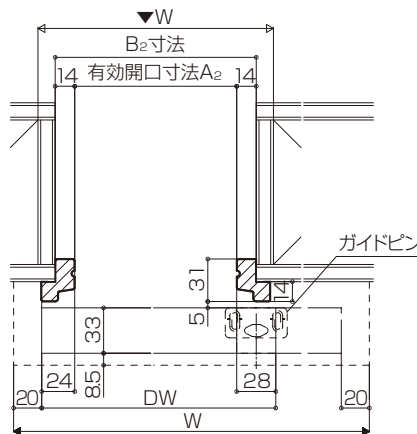
$$\text{有効開口}A_2 = (W - 116) / 2, B_2 = (W - 60) / 2$$

#### ●横断面図

(片面入隅納まり)



(平入り納まり)

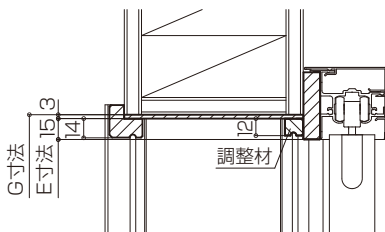


※開口の位置と固定ガイドピンの位置は連動しませんので、必ず9ガイドピンの取付けを参照してください。

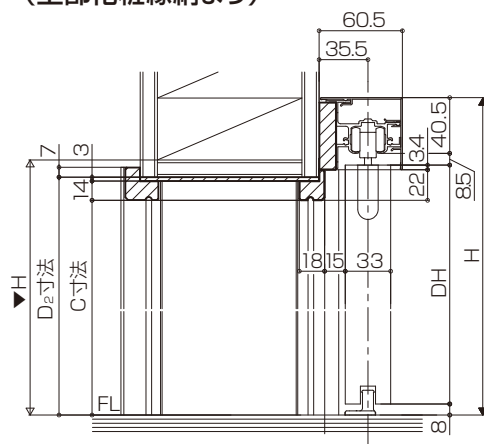
### ■両面化粧縁納まり

#### ●縦断面図

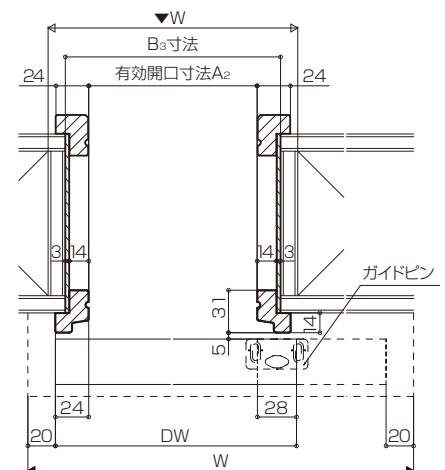
(上部調整材納まり)



(上部化粧縁納まり)



#### ●横断面図



#### 有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A <sub>2</sub> 寸法	B <sub>3</sub> 寸法
W13(1324)	604	638
W15(1560)	722	756
W16(1644)	764	798
W18(1824)	854	888

H呼称(枠外寸法)	C寸法	D <sub>2</sub> 寸法	E寸法	G寸法
H20(2030)	1956	1973	1978	1996

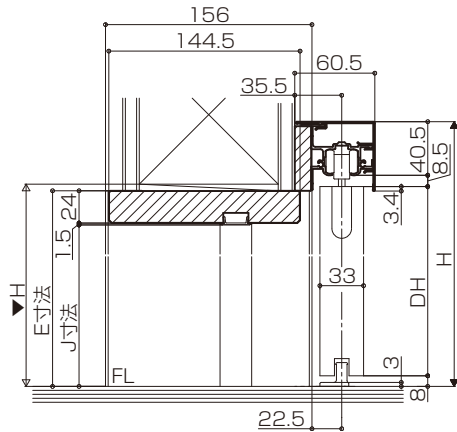
※開口の位置と固定ガイドピンの位置は連動しませんので、必ず9ガイドピンの取付けを参照してください。

算出式

両面化粧縁納まりの場合: 有効開口A<sub>2</sub>=(W-116)/2, B<sub>3</sub>=(W-48)/2

■固定枠納まり

●縦断面図



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	入隅納まり		平入り納まり	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
W13(1324)	621	672	601	652
W15(1560)	739	790	719	770
W16(1644)	781	832	761	812
W18(1824)	871	922	851	902

H呼称(枠外寸法)	E寸法	J寸法
H20(2030)	1978	1952.5

算出式

入隅納まりの場合:

有効開口寸法A=(W-82)/2、B寸法=(W+20)/2

平入り納まりの場合:

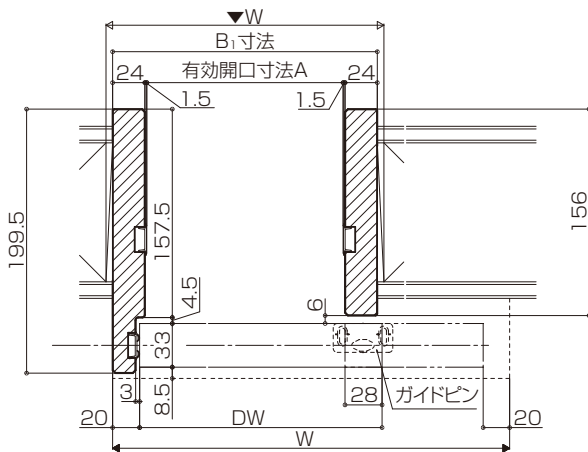
有効開口寸法A=(W-122)/2、B寸法=(W-20)/2

E寸法=H-52

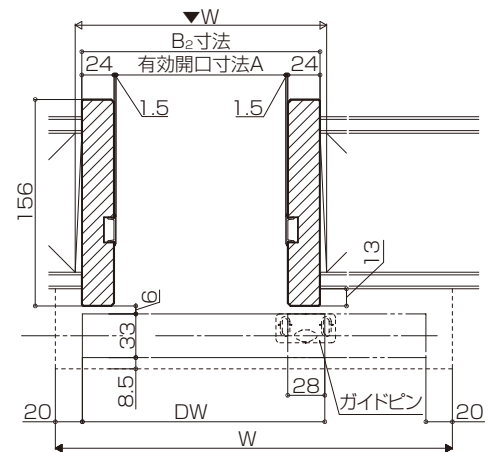
J寸法=H-77.5

●横断面図

(入隅納まり)



(平入り納まり)



※開口の位置と固定ガイドピンの位置は連動しませんので、必ず**9**ガイドピンの取付けを参照してください。

# MEMO

---